

# 街路樹

## 第22回小学校算数教育研究全国大会(川崎)から

テーマ 算数で目指す「活用する力」を育てる  
～問題解決を通して算数のよさを活かし味わう～

☆算数のよさとのかわりでの活用  
3つの場面がある

- ①日常生活における活用  
(日常生活をシュミレーションする)
- ②既習内容を新しい算数学習の場面での活用  
・既習の知識や技能を適用したり応用したりして問題を解決する。  
・既習内容を活用して新しい知識や技能を作りだして習得する。
- ③算数以外の他教科での学習で算数を活用する。



活用する力＝算数の学力

☆授業展開の流れに沿って活用する力を育てるために  
①具体的な場面・事象から見いだされた解決すべき問題を算数の問題となるよう数理的にとらえられるようにする。

- ②既存の知識・技能や考え方を活用し、解決の計画を立て、問題解決のストラテジーを駆使して計画を実行する。
- ③初めの問題を解決し終えたとき、解決したことから何がわかったか、何ができるようになったかを問い直す。



## 教育相談のお知らせ

体調不良等で欠席しがちな子どものために「医師による専門的教育相談」を実施しています。12月は14日(木)、1月は25日(木)の午後1時から午後5時まで行っています。

問い合わせ先 22-3705  
(総合教育センター教育相談係)



## 板書・ノートの指導技術 ⑦

～日々の板書について見直しましょう～

Q. 色チョークの使い方は、どうすればよいでしょうか？

※色チョークを工夫して使うと、学習効果を上げることができます。そこで、次のことに留意してみましょう。

### A. 残像性を残すように工夫する

- ①赤チョーク  
・黒板に書いた子どもの算数の練習問題、国語の漢字の練習などを訂正したりする。  
・グラフや図形、線の書き込みをする。  
・教室の後ろからよく読めないのに注意して書くようにする。
  - ②黄チョーク  
・図形、グラフのメモリに使用する。  
・他のどんな色チョークよりも、はっきりと見えるので、どんな時でも使用することができる。
- ※色覚がはっきりしない子どもなど、十分配慮する必要があります。

### B. 子どもに注意をうながすように工夫する。

- ①白チョークと同じ調子で書かない。  
・ゆっくり ・速く ・子どもの顔を見ながら など
- ②必要なことのみ特徴づけて書くようにする。  
・大きく書く ・マルで囲む ・傍線をつける など
- ③行を変えて書くようにする。  
・次の行に書く ・矢印で結ぶ など

### C. 興味・関心をひくように工夫する。

- ①できるだけ確かな色を使う。
  - ②細かなところまで気をくばる。
  - ③光線などをよく考えて工夫する。
- この他、子どもたちとチョークの色でいろいろな約束をしておき、学習効果をあげることもできます。



## 研修の感想紹介

### 初任者研修「養護学校参観研修」

- 毎日、反復して行う指導の継続の積み重ねにより、子ども達が確実にできることを増やすことの大切さを教えていただきました。
- 「できない、できない」と嘆く前に、担任としてできることは何かを、謙虚な気持ちで問いつづきたい。特別支援にここまで情熱を傾け続け、取り組んでいらっしゃる担任の先生との出会いに涙があふれてしまいました。
- 一人一人を見つめ、子ども達のちょっとした成長を喜び合いながら、一人一人をしっかり見取ることができるようになりたい。養護学校研修の見るもの聞くもの全てが、勉強になりました。



### 英語活動研修講座③

- 子ども達の英語に対する興味関心を高めるためには、歌で始まり、ゲームで学び、歌で終わるというパターンの流れは、効果的であることを実感できました。
- 授業の事前準備が大切だということに気づきました。小学校の英語活動ということで構えてしまいましたが、まずは私達教師自身が英語に触れる機会を増やしていくことが大切であると思いました。
- 何度も会話を繰り返し、手法を変えながら展開していく活動は、子どもの気持ちを引きつけ、意欲を持続させながら、興味関心を高めることができると感じました。子ども達の英語への抵抗も少ないように感じます。今回の模擬授業研修から、教師が英語を体験しながら授業を考える機会や各校と情報交換する機会が必要であると感じました。